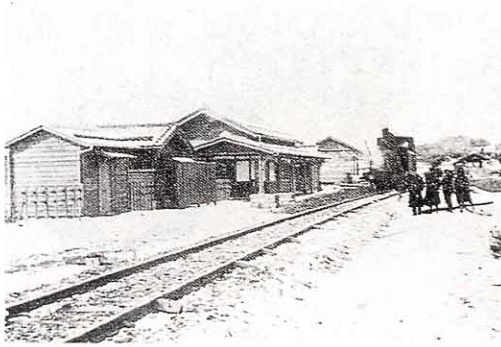
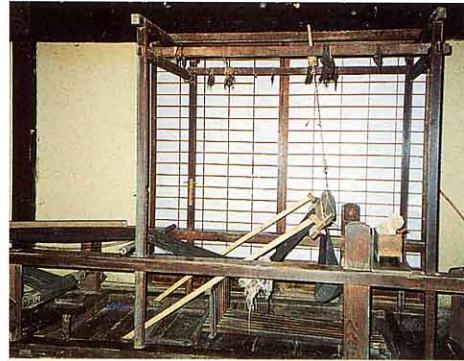


## 80年くらい前



むかしの船引町



はたおり機

おじいちゃんに昔の話を聞いていたら、船引町に鉄道が通るようになったのは、今から80年くらい前のことだと話してくれました。



みそやしょうゆのほか、着るものも、たいていは自分の家で作っていました。電とうもなく、ランプを使っていたそうです。昔の子どもは、子守りといって、よその家にずっととまって赤ちゃんのめんどうをみる仕事をする人もいました。

## おじいさんの話



磐越東線ばんえつとうせんは1917年（大正6年）に完成かんせいしたんだよ。わたしは小学2年だったんだが、毎日のようにべんとうをもって汽車を見にいったもんじゃない。田村郡は養蚕ようさんどころなので、汽車のばい煙えんで桑くわが被害ひがいをうけるといって鉄道をつくるのに反対する人もいたね。磐越東線が開通する前は今の駅前あたりは田んぼばかりで家はあまりなかったんだ。そのかわり板橋区いたばしのあたりは歩いて旅する人たちの宿場としてにぎやかだったんだ。磐越東線ができたことによって町（当時は片曾根村）の中心がかわってきたんだよ。

※注（常葉町とのさかいあたり）